

笑ってごらん

第 642 号 2019. 1. 8 発行

～今日の格言～

どこまでも積極的に できることはできると信じ
永遠に自分は進歩したい
できるできる 必ずできる (武者小路実篤)



新年あけましておめでとう。2019 年を迎えた。
干支は亥、イノシシである。

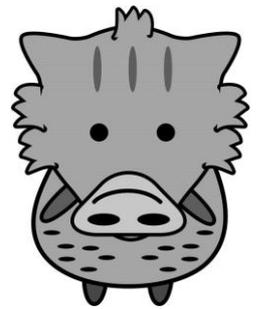
元日から幾度となく『猪突猛進』、『猪のように
突き進め!』などという言葉が聞かれる。

大概の動物は自分が身の危険を感じたら、その
場を立ち去るのが普通であるが、猪はその危険に
対して体当たりなど攻撃行動をもって対処するら
しい。特に、ウリ坊(猪の子ども)を見かけた時
は近くに母猪が居るおそれがあるし、子を守ろう
と気が立っている場合があるのでかなり気をつけ
た方がいいと言われている。

遭遇することは少ないと思われるが、もし遭遇
してしまったら、突進してくる前に、刺激するこ
となくそ〜っとその場を立ち去るようにしよう。

一方、先日のラジオ情報ではあるが、豚や猪は
意外と鼻が利くのだそうで、トリュフを探し当て
るイベリコ豚であるとか、成熟した鳳凰カボチャ
を探し当てる猪などをみれば、確かに頷ける。

さて、この一年、どういった年になるかは自分
の心掛け次第とも言える。日々を大切にし、良い
一年にしていこう!



キログラム定義変更

昨年一月一六日にフランスで開かれた
国際度量衡総会で一三〇年ぶりにキログラ
ム定義の改定が決定された。

これまでは白金イリジウム合金製の国際
キログラム原器を基準としていたが、今回
の改定により基礎物理定数「プランク定数」
に基づいて定義するという。

何故改定するに至ったかといえば、これ
まで使用していた国際キログラム原器は一
〇〇年余りの間に五〇マイクログラムほど
質量が変化した可能性があるらしい。

新しい定義では、ミクロの世界のエネル
ギーを表すプランク定数を用いることによ
り、「より小さな量を正確に測る」ことがで
きるようになるのだそうだ。

少なくとも私たちの日々の生活に影響は
無いが、ごく微量な量を正確に測ることが
できるようになるため、新機能を持つ素材
の開発や創薬に役立つ。

新しい定義は二〇一九年五月二〇日から
適用される。

『去年今年 貫く棒の 如きもの』……高浜虚子の句である。文筆業を営んでいる高校時代の友人から送られてきた年賀メッセージに含まれていたもの。

「昨日までは去年、今日からは今年、と言っているが、一日の違いでそう大きく変わるものではない。去年から今年にかけ貫いている『棒』が大切なのだ」と解釈すべきか。

友人は「自分にとっての『棒』がいったい何なのかまだわからないが、ひょっとしたら『棒』は意識してつくるものではなく、自ずとできあがっていくものなのかも知れない。ならば、一日一日を大切に過ごす、ごく当たり前のことではあるが、実はそれが大事なことなのだと思う」と締めくくっていた。

虚子の言う『棒』とは何か? 奥深さに触れ、考えさせられた年明けだった。